



2010年12月10日 第793号



発行 関西学院大学新聞編集部
〒662-0891
西宮市上ヶ原1番町1-155
関西学院大学新学生会館3F
電話：(0798) 51-1181
HP：http://www.justmystage.com/home/kgpress/
E-mail：kgpress2009@yahoo.co.jp

新月祭2010

心温まる伊藤由奈Live

新月祭2010が神戸三田キャンパス(10月23、24日)と西宮上ヶ原キャンパス(10月31日、11月3日)で開催された。「魅せられて、関学」というスローガンの通り、後夜祭には伊藤由奈が来るなどさまざまなイベントや模擬店の催しが行われた。大学祭は多くの人で活気に溢れ、関学の魅力が十分に発揮された。

【関連記事4・5面】



様々なヒット曲を熱唱する伊藤由奈さん

新月祭恒例メイイベント「後夜祭ライブ」。今年度は、歌手の伊藤由奈さんがゲストとして招かれた。ライブタイトルは、「後夜祭伊藤由奈Live 10.10.KG」。「heart for you あなたに贈るメッセージ」。寒い中、4000人以上の観客が、彼女の歌声を聞くために、中央芝生特設ステージに足を運んだ。しかし、そんな寒さも忘れられるくらい、とても盛り上がったライブだった。まず「Mahalo」のアカペラVer.で幕を開けた。前半で、

圧巻のステージを披露 応援団総部祭

応援団総部は10月31日、応援団総部祭「新月旗の下に」を開催した。4回生のラストステージとあって、多くの観客が訪れた。前半は応援歌や学生歌などが披露されたほか、チアリーダー部や吹奏楽部などが単独ステージを行った。終盤の幹部紹介は幹部らに賞状が贈られ、涙を流す部員もいた。そして最後にサブライズとして、関西大、同志社大、立命館大から応援団が駆けつけ激励のパフォーマンスを行い幕を閉じた。



迫力あるパフォーマンス

人生は一度きり ルー大柴氏講演会

10月24日、関西学院三田キャンパスにてルー大柴氏の講演会が行われた。「ライフイズワンス!! 恥かけ! 汗かけ! 涙しろ!」と題されたこの講演会は、ルー大柴氏の学生時代、恋人や友人との出会いと別れ、高校卒業後の一人旅、俳優を志したきっかけ、などについてのものであった。会場には学生だけでなく、小さな子どもや年配の

女性 女性の社会進出が目立ってきた現代で、本企画は女性の力強さを改めて感じさせる。今回出場した6人の今後の活躍に期待したい。

うどん旋風来たる 田尾和俊氏による講演会

11月3日、田尾和俊氏による講演会「讃岐うどんブームのプロモーション」が中央講堂で行われた。関学卒業生である田尾氏の話を聞くのと目的を達成するためうと会場には多くの人が集まった。登場するや、軽快なトークで会場に多くの笑いを巻き起こした。ある日、田尾氏は納屋の一角でうどんを食べ、地元のおばちゃんが出てきたアスパラをその場で揚げてもらい、うどんに乗せて食

べている光景を目の当たりにしカルチャーショックを受けた。それと同時に「もしかしたら若者にうけるのでは?」という考えが頭をよぎった。当時、香川県では讃岐うどんは夕サイ! 親父臭い! というイメージがあった。それをくつがえすために讃岐うどんの掲載を始めた。また、お笑いのうどん屋紹介「種通団」も始めた。こうして讃岐うどんブームは巻き起こったのだ。

田尾氏は講演の中で「一番大切なことは具体的な目的をかけること。そうすると目的を達成するための手段が出てくる。当たり前だ。登壇するや、軽快なトークで会場に多くの笑いを巻き起こした。何かを発見したり、何かに気付くというものは天性のものではなく必死で目的を持って探している人にか見つけられないものです」と語った。また会場に向けて「何かを発見したり、何かに気付くというものは天性のものではなく必死で目的を持って探している人にか見つけられないものです」と語った。

『どんな人だって その人の人生という 舞台では主役である』 遠藤周作

輝くミスKG 西宮ガーデンズ



ウエディングドレスを披露

ミスキャンパス関西学院2010実行委員会は、11月6日に西宮ガーデンズ4階スカイガーデンで、1つ目は「Intelligence」の3つの単語を組み合わせた言葉である。見た目の美しさだけでなく、自分の可能性を広げようとする意志と広い視野を持つこと。そして、社会の中で男性に負けない競争力を備えた女性を目指すという意味だ。

才色兼備な女性

見事、ミスキャンパスに輝いたのは片山詩帆美さん(文・3)だ。準ミスキャンパスは松川亜佑美さん(商・3)が選ばれた。片山さんは、本企画に参加して自分の中で何か変化があったのかという質問に対して、「周りの友達のありがたみがより実感できるようになった」と語った。

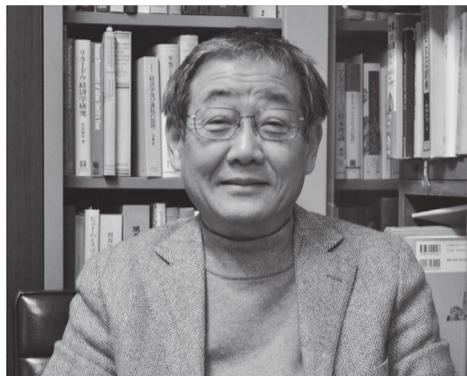
- 2,3面 KGニュース グリーククラス全国1位 次期学長決まる
【論説】 日進月歩
4,5面 新月祭特集
6面 連載記事
7面 文化総部面
8面 学生・大阪維新の会 インタビュー

ボクラ 電車内での携帯電話の使用はマナー違反である。誰もがわかっていてのことなのだが、ときにはそのことを忘れてしまうのか、電車内で通話している人を見かけることがある。そんなときには誰かが注意をする。しかし、電車の中でメールなどをすることに悩んでいる人が多い。この場合における通話とメールの送受信との決定的な違いは、発音をするか否かである。つまり、電車内での通話に対しては注意をするが携帯電話の使用に對しては注意をしない人は、通話をする声で周りの迷惑になると主張していると言え、確かに通話する声は周りの迷惑になりえる。どうして電車の中での通話は許されず、メールは黙認されているのだろうか。通話する声は周りの迷惑になりえるが、車内での会話も迷惑になりえる。携帯電話を使用する際、発信される電波がベースメーカーなどに悪影響をおよぼす。それならばメールでの使用もマナー違反だ。しかし、使用者はベースメーカーの有無について、大した問題ではないと認識している。近頃、大学生のモラル低下が指摘されている。マナーとは何か、どうしてそんなマナーが存在するのか、ということを考える姿勢が大切なのである。

# 次期学長決まる

## 井上琢智先生

次期学長に経済学部の井上琢智先生が選出された。任期は2011年4月1日から2014年3月31日までの3年間。先生の専攻はイギリス経済思想史と日本経済思想史である。またかつては経済学部長、図書館長や副学長を務めた。学長に就任してから取り組みたいことについて、「学生たちが四年を過ごした後、関学で学べてよかったと思ってもらえるような学校にしていきたい」と話した。同時に、「本分である勉学や課外活動に、より一



学生に向けてメッセージを送った井上先生

### 自立した振る舞いを

Mastery for Serviceを見つけてほしい」と語った。学生のモラルの低下について、「学生だからといって、責任ある行動をとり、自立した振る舞いをしてほしい」と述べた。一生の中で、「答えのない問いに對しても、常に問い続けることが大切だ」と強調した。「就職して働き始める時、自分が関心をもつことを考えることが難しい。だからこそ、貴重な学生時代を無駄にしてほしくない」と関学生へメッセージを送った。

### 異文化への理解高める

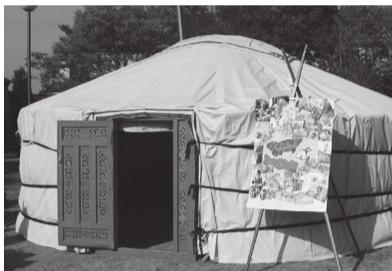
#### モンゴリアウイーク

11月4日から8日の5日間、三田キャンパスで「モンゴリアウイーク」が開催された。総合政策学部の上野真城子先生のゼミ生による企画で、今回が初めてとなる。

### 日本人に伝える使命

催しでは、写真の展示や、実際に水を選び、重さを体感するワークショップなどを実施した。また、ゼミ生による環境衛生・政治外交・教育の3分野の研究発表や、現地の高校生とJICAを通じてのシンポジウムも行われた。中でも注目を集めていたのが、遊牧民の移動式住居「ゲル」だ。ゲルは上野先生が今春購入したもので、直径約5

メートルと小型。だが、実際にゲルを訪れた学生や一般人の人々は「貴重な体験ができた」と話し、モンゴルの雰囲気をリアルに感じる事ができた。「自分たちの思いが形となって伝えることができてうれしい」と語るのには、ゼミ長の多田渚さん(総政・4)も上野ゼミでは毎夏、研修でモンゴルに赴く。その研修ではモンゴルが直面する問題を考え、また一方で現地の人の温かさに触れ、文化を知る事になる。多田さんは「親日家が多いモンゴルと比べて、私たち日本



移動式住居「ゲル」を展示

ある。同時に私たちもモンゴルへの理解が重要となるだろう。今回の「モンゴリアウイーク」は、モンゴルと日本、そして私たちが少しでも近づく良い機会を与えてくれたに違いはない。

### 一糸乱れぬ大合奏

#### クラシックギタークラブ

クラシックギタークラブは11月13日、高槻現代劇場大ホールで第50回定期演奏会を開催した。プログラムは全3部で構成された。第一部は小合奏、三重奏、四重奏、3回生アンサンブルの4ステージ。第二部は二重奏、4回生アンサンブル、独奏を披露した。締めくくりに第三部は、2、3、4回生全員が大合奏で一つとなり、会場をとりこにした。部長の井上省吾さん(社3)は「たくさんの方に来場していただき、感謝の気持ちです」と話した。

### 4回生最後の演奏会

しかし重圧が大きかった分、より練習に励み、本番は大成功に終わった。特に第三部の大合奏の一曲、ドヴォルザークの交響曲第9番「新世界より」は、一糸乱れぬの部に入ってよかったと思えるような活動をこれからも続けてほしい」と後輩へエールを送った。

### 裁判員の責任を熱弁

#### 高見弁護士講演会

関西学院大学法政学会は11月5日に高見秀一弁護士(特別講演会)を開催した。「裁判員制度と今後の課題」と題して、裁判員制度の概要、人を裁くことの重大さと心構え、弁護士の経験に基づいた日本の司法の現状を語った。

### 関学をクリスマスモードに

11月29日、上ヶ原キャンパス中央芝生でアドベントクリスマスツリーに変身した。また、三田キャンパスでもクリスマスツリー点火礼拝が挙行された。本学はキリスト教の精神に基づきクリスマス行事を行う。中でも、多数の学生がクリスマスツリーだ。ツリーは12月25日まで、16

### 日本への熱い思い

#### 鳩山前首相講演会

今年4月に国際学部が開設したことを記念し、10月18日に鳩山由紀夫前首相による国際学部開設記念連続講演会第9回が開催された。鳩山前首相の講演を聞いたために講演1時間前から定員をはるかに上回る学生が列をなした。

### 政治を変えるのは若者

鳩山氏は講演の中で「友愛」「東アジア共同体」「新しい公共」の3点について言及した。特に力を入れたのは、東アジア共同体について。「今後、経済・文化の面で東アジアとの協力が必須」とし、その一例として、そのような敗北主義ではなく、自分達が一番だとい

### 新たな地域イベント

#### 第1回甲東園バル

10月30日に第1回甲東園バルが開催された。バルと屋街に見立てて、飲食店めぐりを楽しんでもらうための企画だ。



上ヶ原の夜空を彩るツリー

第1回甲東園バルでは、タイ料理や中華料理、カフェなど計34店舗が参加した。各店舗が本企画のために、工夫をこらした一品とドリンクのセット(一律700円)を用意した。参加店の一つである、居酒屋「樽斗」の川上清隆さんに話を聞いた。今回の手ごたえを、「1日だけの企画にもかかわらず、大盛況だったのでよかった。参加者から次回の開催を期待が



# 新月祭 2010

## 関学一の名コンビ誕生 上ヶ原・相性グランプリ

10月23日に三田キャンパス、11月1日に上ヶ原キャンパスで、「相性グランプリ」関学一の名コンビ」が開催された。

このイベントは、応援団総部、新聞総部、宗教総部、総部放送局、文化総部、体育会、法学部学生自治会、神学部学生会の六総部二自治会が企画し、運営された。内容は2人1組で出場



優勝した吉川さん(左)・深谷さん(右)

し、ジェスチャーゲームやシンクロナイズで得点を競いながら、2人の相性をチェックするというものだ。上位3チームには豪華賞品が贈られる。

三田キャンパスでは4組、上ヶ原キャンパスでは8組が集まり、仲の良さを証明し、優勝するべく接戦を繰り広げた。ゲーム中には、2人の出会いや思い出

## 日頃の成果を披露 上ヶ原・軽音楽部

軽音楽部は11月2、3日に中央芝生とプラザで学園祭ライブ「Waaarp」を開催した。2日間で計12組のバンドが日頃の練習の成果を披露した。

邦楽や洋楽、さらにロックからジャズまで幅広い音色を魅せた。力強いメロディは会場を一体感の渦で包み込んだ。部員が演奏に全身全霊をささげる勇姿



力強いメロディを響かせる

は、ライブをより一層盛り上げた。また、3日は祝日だったため、学生だけでなく一般人の観客も多かった。年配の男性は、「まさに圧巻のステージ。青春の風を感じることができ、とても満足だ」と語った。

12月5日には西宮アミティホールで、フェアウェル・コンサートを予定している。次はどんなライブを披露するのだろうか。華々しい活躍に期待したい。

## 映画の名曲を演奏 上ヶ原・バロックアンサンブル

関西学院室内管弦楽団バロックアンサンブル新月際コンサート2010がランパス記念礼拝堂で開かれた。開演が近づくにつれて観客が増えていき、プログラ

ムが始まる頃には、席がほぼ満席の状態となっていた。プログラムは、フルートやオーボエ、クラリネットなどの様々なアレンジを加えて演奏された「Trumpet Voluntary」で始まり、続いて、「ソロモン」より「シバの女王の入城」が演奏された。

6番目に演奏された情熱大陸はテレビでおなじみの各シーンが頭に思い浮かんでくる演奏だった。



音楽に耳を傾ける聴衆

## 熱気に包まれた 上ヶ原・K.G.AWARD'10 ~GET THE VICTORY!!~

11月1日に中央講堂で「K.G.AWARD'10 ~GET THE VICTORY!!~」が開催された。「K.G.AWARD'10」は、音楽や格闘技など何でもありのコンテストである。普段は違う場所で活動する団体が、このステージではジャンルに関係なく、今まで頑張ってきた活動をそれぞれ披露した。

会場は幕が上がる前から熱気に包まれていた。今回舞台で披露されたのは、コブクロの曲のカバーなどを熱唱したバンド「あくび」が、見事「GET THE VICTORY」賞を受賞した。



優勝したバンド「あくび」

3人の審査員と観客の投票結果により、今年の優勝者が決まった。「K.G.AWARD」しかし、だからこそ楽しめる。来年のステージでは何がでくるのか楽しみだ。

毎回どんな出し物が披露されるか分からない「K.G.AWARD」しかし、だからこそ楽しめる。来年のステージでは何がでくるのか楽しみだ。

## 関大と合同演武祭を開催 上ヶ原・少林寺拳法会

少林寺拳法会は、11月2日11時から上ヶ原キャンパス中央講堂で、関西大学との合同演武祭を開催した。

BGMを用いながら、息の合った堂々とした演舞披露。そして、痴漢に遭いそうな女性が男性を返り討ちにするといったようなコメディークな技紹介も行われた。最後には、関学対

武祭であった。



堂々とした立ち振る舞い

## 迫力満点の舞台 上ヶ原・Something

演劇グループSomethingの新月祭での演目は「エレベーター」。ライブ会場に向かう男女5人がエレベーターに閉じ込められることのできるこの物語。5人の中に放火犯がいるのではないかと、僕は本当の親子なんじゃないか？最愛の彼に捨てられた女の自殺騒ぎなど、エレベーターのなかで奇想天外な事件が繰り広げられる。舞台は黒と灰色で仕切られた台のみ。小細工は一つもない。エレベーターが止まるシーンも故障を繰り返すシーンもすべて役者の動きで表現される。ダンスのように体を大きく動かすことで、ただの台がエレベーターに見える。照明の当て方も印象的でどこかリアルさを演出している。

今回の公演での一番の特徴は舞台の作り方ではないだろうか。客席が舞台を挟むように両サイドに設置されていて、役者と観客の距離がとても近い。観客は役者の息遣いや温度を近くで感じることによって、まるで自分もエレベーターに閉じ込められたような錯覚に陥る。

Somethingの舞台を観るたび役者の芝居、照明や音響の演出に感動する。どの作品を演じても決して期待を裏切らない。今回は12月の3回生引退公演「飛龍伝」。次はどんなSomethingに出会えるのだろうか。



暗闇に映えるイルミネーション

## ロマンチックな雰囲気演出 上ヶ原・関学イルミネーション

大学祭実行委員会が企画した「関学イルミネーション」が、心響く輝きを「関学」が10月31日に実施された。午後6時から点灯式が行われ、中央芝生は華やかなイルミネーションで彩られた。

と関大生のカップルは、「イルミネーションと演奏がとても合っていて、すごく綺麗だった」と感想を述べた。今年の新月祭のテーマは「魅せられて、関学」。色とりどりのイルミネーションが人々を魅了した素敵な夜となった。

雨天にもかかわらず、多くの来場者が中央芝生を訪れ、来場者の中にはカップルも多く見られた。関学生を楽しんだ。

# 魅力溢れる関学

## 法自の虹広がる

### 上ヶ原・法自イベント

法学部学生自治会(以下、法自)は新月祭期間中、三田・上ヶ原両キャンパスにおいて法学部祭を開催した。法学部祭では、『みんな描くRainbow』とあなただけの特別な日(以下Rainbow)と、お化け屋敷『呪われた法学部』あなたはこの恐怖に耐えられるか(以下、お化け屋敷)が開催された。



人々を驚かせたお化け

Rainbowは、来場者に記念日を書いてもらって大きな虹を作るという企画だ。会場には赤や緑などの小さな色紙が用意され、来場者は好きな記念日を書き込む。そして会場内に設置された虹型の板に張り付けていく。するとカラフルに彩られた虹が完成する仕掛けだ。来場者は思い思いに虹を作っていた。

一方向かいの会場ではお化け屋敷がオープンしている。初の試みという本企画だが、連日大人気で来場者が途切れることはなかった。最終日には受付を途中で中止したほどで、残念ながら記者も中に入ることはできなかった。

両企画は法自の活動を広く知ってもらうために開催された。それに伴って、場内では法自について書かれた冊子が配布されていた。来年の企画については未定だが、今年行き損ねたという人は是非楽しみにしてほしい。

## 新鮮なハンドベルの音色

### ハンドベル・三田キャンパス



斬新な演奏方法

会場に並べられた座席には子供連れの女性や、年配の夫婦が目立った。関学生だけではなく、様々な人々が耳を傾けていた。

10月23日にランパス記念礼拝堂ラウンジにおいて、理工学部ハンドベルがコンサートを開いた。涙そうそうや君をのせてなど、広く親しまれている曲をはじめ、7曲余りを披露した。

部員全員が理工学部であることから授業が多く、なかなか練習時間がとれないという。そんななかでも一致団結し、作り上げたメロデーはとても美しい。毎日こうして楽しめた遊びよりもむしろ楽しめた。

4年生の男子は、「普段の遊びよりもむしろ楽しめた。毎日こうして楽しめた。遊べる笑顔を話した。」と開放感あふれる笑顔で話した。

10月23日、24日に行われた総務放送局主催の三田アウトライトイベントには学生以外にも多くの子ども達が集まり、にぎわいを見せた。

24日のイベントに出場したのは、法学部学生自治会とK.G.Wing、Flip-Flipの3チーム。それぞれクイズや椅子取りゲームで競い合った。参加者が回答できなかったら観客が代わりに答えることのできる観客参加型のクイズでは、多くの子ども達も参加していた。

彼女が三田キャンパス正門前特設ステージでライブを開催した。10月24日の12時〜12時30分の30分というミニライブであった。そして、非常に多くの人が足を止めて、彼女の歌に聞き入っていた。

大学祭実行委員会は三田キャンパスで「全力で遊べ☆ENERGY PARK」を開催した。本企画は10月23、24日の期間中、正門横芝生で行われた。

訪れた人たちは、だるまおとしやスーパードールすくい、ストラックアウトなど計10個のミニゲームに挑戦した。会場はゆったりとした雰囲気、来場者はのびのびと全身を動かして楽しんでいった。参加した小学生の男子は、「普段の遊びよりもむしろ楽しめた。」と開放感あふれる笑顔で話した。

大阪を中心にライブ活動をしている、シンガーソングライターの吉村綾花さん。

彼女は三田キャンパス正門前特設ステージでライブを開催した。10月24日の12時〜12時30分の30分というミニライブであった。そして、非常に多くの人が足を止めて、彼女の歌に聞き入っていた。

彼女が三田キャンパス正門前特設ステージでライブを開催した。10月24日の12時〜12時30分の30分というミニライブであった。そして、非常に多くの人が足を止めて、彼女の歌に聞き入っていた。

## 芸人と関学生の共演

### 三田・お笑いライブ

10月24日に大学祭実行委員会は神戸三田キャンパスで「三田爆笑大作戦2010」みんな一緒に笑っちゃいまSHOW」を開催した。招待されたお笑い芸人は、フルーツポンチ、GAG少年楽団、桜・稲垣早希の3組。イベントはそれぞれのネタ披露と

関学参加型のコラボ企画の二部構成で行われた。イベント開始直前から雨が降り始め、気温もかなり低い状態であった。さらに安全のために観客は傘をさすことを禁止されていた。それでも後ろからステージが見えないほどの人数が集まった。ネタ披露では、各

芸人が個性をいかして雨と寒さを吹き飛ばすほどの笑いを生み出した。特にフルーツポンチは学生だけでなく、観覧に来ていた子ども達からも大人気であった。

ネタ披露の後はS-1バトルと題された、芸人と関学生のコラボ企画が行われた。S-1バトルは、3組の関学生達がそれぞれ持っている一芸を披露し、審査員となった芸人がそれを評価して優勝を争うというも

の結果は中国ゴマとハイパーヨーヨーの高尾・浜田ペアが優勝した。大の雨の中であったが、お笑いライブは芸人と関学生が一体となり、見事に三田キャンパスの新月祭を締めくくった。

今回の展覧会の目的は、定期的に行われる展覧会の来場者獲得のため。そして、来場者との交流を楽しむため。今回の展覧会は、12月開催予定の「第88回弦月会展」。ハイレベルな作品が多く展示されるので、気になる人はぜひ足を運んでみてほしい。

Eco-Habitat(エコハビタット)は三田キャンパスで10月23、24日の新月祭にて写真展とフリーマーケットを開いた。

写真展は当サークルが今夏に実施したフィリピン建築ボランティアの様子を撮影した写真を展示。写真はプロックの組み立てや、

部員の有志が自身の使わなくなった衣類などを持って寄って販売した。これらの海外ボランティアプログラムの資料として使用される。またフィリピンの母親が作る刺繍入りのタオルも併せて店頭で並べられた。刺繍入りタオルの売上げの一部は、タオル商品に勤し

## 魂のこもった似顔絵

### 三田・絵画部秋季学内展

小さなスペースの中で、部員たちの魂のこもった様々な作品が展示された。一番印象的だったのは、「天使」や「お祖母さん」という作品。写真のようにとても忠実に描かれていて、非常に衝撃を受けた。そして、レベルの高い作品が多数展示されていた。

今回の展覧会の目的は、定期的に行われる展覧会の来場者獲得のため。そして、来場者との交流を楽しむため。今回の展覧会は、12月開催予定の「第88回弦月会展」。ハイレベルな作品が多く展示されるので、気になる人はぜひ足を運んでみてほしい。

Eco-Habitat(エコハビタット)は三田キャンパスで10月23、24日の新月祭にて写真展とフリーマーケットを開いた。

写真展は当サークルが今夏に実施したフィリピン建築ボランティアの様子を撮影した写真を展示。写真はプロックの組み立てや、

部員の有志が自身の使わなくなった衣類などを持って寄って販売した。これらの海外ボランティアプログラムの資料として使用される。またフィリピンの母親が作る刺繍入りのタオルも併せて店頭で並べられた。刺繍入りタオルの売上げの一部は、タオル商品に勤し



似顔絵を描く部員たち

10月23日、24日に行われた総務放送局主催の三田アウトライトイベントには学生以外にも多くの子ども達が集まり、にぎわいを見せた。

24日のイベントに出場したのは、法学部学生自治会とK.G.Wing、Flip-Flipの3チーム。それぞれクイズや椅子取りゲームで競い合った。参加者が回答できなかったら観客が代わりに答えることのできる観客参加型のクイズでは、多くの子ども達も参加していた。

彼女が三田キャンパス正門前特設ステージでライブを開催した。10月24日の12時〜12時30分の30分というミニライブであった。そして、非常に多くの人が足を止めて、彼女の歌に聞き入っていた。

彼女が三田キャンパス正門前特設ステージでライブを開催した。10月24日の12時〜12時30分の30分というミニライブであった。そして、非常に多くの人が足を止めて、彼女の歌に聞き入っていた。

彼女が三田キャンパス正門前特設ステージでライブを開催した。10月24日の12時〜12時30分の30分というミニライブであった。そして、非常に多くの人が足を止めて、彼女の歌に聞き入っていた。

で、ダンサブルな「Keep my heart secret」や、観客とのレスポンスで盛り上がった「SAY YES」といったポップナンバー、さらには20才を迎えた彼女が生きていくことについて歌った「Alive」というミディアムバラードまで様々な音楽を披露した。

またソロでデビューして、間もない彼女だが、今後の活躍が期待できるステージであった。今回の新月祭では、他にもお笑いライブや、ダンスショーケースにゲスト出演した。吉村さんは今回の新月祭参加について、「歌でこの新月祭を盛り上げようという事で、今回ライブをすることになりました」と語った。

さらに「一部の曲のPVが、You Tubeにもアップされているので、是非観てほしい」と紹介をした。

「ピラメキーン」と正解すると、会場が一層盛り上がった。



# 教授の部屋

## 鮎川潤

法学部 教授

今回取材したのは、法学部法律学科の鮎川潤先生だ。鮎川先生は刑事政策全般を専門としていて、特に少年司法について研究している。最近では、更生施設を出所した少年たちの調査等を行っている。更生施設とは、少年院を出て家に戻るとき、事情により家に戻れないような場合、入ることが多い施設である。ほとんどの場合、親から自宅へ戻ることが拒否されたり、反対に家に戻らない方がよいとみなされたケースが当てはまる。

最近の少年犯罪について鮎川先生は、「統計的に見ると、以前より凶悪犯罪件数は減ったように感じられる一方で、未成年者プライバシーの保護の点から生じる隠された事実がある」と語った。顔写真や名前、その少年の住所、家庭環境など私たちに決定して明かされない。これにより少年犯罪の決定的な原因つまり家庭環境からなのか、また他の原因からなのかは、私たちにはわからない。鮎川先生は、更生施設にいる少年たちに話を聞く機会がよくあり、マスメディアなどで流れている原因だとする情報が必要しも正しいというわけではないと先生は推測する。

さらに少年犯罪がなくなるための解決策を

### 明かされない少年犯罪報道、法の整備の意義とは

尋ねたところ、「一つに法を整備するなどして、犯罪をなくす環境を整えることが挙げられる。しかし統計的に減っているといつても、それで果たして減ったと言えるかどうかはわからない。一番重要なことは、犯罪は決してなくなるものではないものだと思うことである」と法整備の難しさを物語った。

その他にも、鮎川先生は現在マスメディアでは報じられない、ここ20年以前の犯罪被害者遺族のその後の様子や、また長期的に見た場合、何が遺族に対して本当に必要な支援なのか。さらに近年注目されている裁判員裁判について、一般人が死刑を下すことが、世界的視野に立った場合、今後の歴史においてどのように評価されるかについて研究している。

鮎川先生は本学に赴任して現在7年目となるが、最後にこれからの未来を背負う学生に向けて、「本学は、自分のやりたい事を自由にさせてくれる学校だから、その意味を履き違えることのないように、何か自分のやりたいことを見つけて率先してやるように」というメッセージを最後に語った。

### あゆかわ じゅん

愛知県生まれ。東京大学卒業、大阪大学大学院人間科学研究科後期博士課程中退。

松山商科大学（現 松山大学）、金城学院大学、スウェーデン国立犯罪防止委員会客員研究員、南イリノイ大学フルブライト研究員、ケンブリッジ大学客員研究員を経て、現在2004年から関西学院大学法学部法律学科教授。

今回は本格インド料理を手軽に楽しむことができる「アカーシユ」を紹介したい。店内はインドのポップスが流れ、現地で調達したインテリアが並ぶ。ドアを開けると、私たちがインド旅行へいざなう雰囲気包まれたお店と感じた。

ランチメニューの中でも人気があるのは、Aランチ(760円)だ。サラダに始まり、カレーはチキン、カレーと本日のカレーのどちらかを選択できる。「本日のカレーについては、季節ごとに30種類くらいあります」と店員は話す。さらに、ナンとライスのどちらかを選ぶことができる。ナンは、バスケットに収まらないほど大きく、モチモチとした食感が楽しい。そして最後は、ヨーグルトをベールにした飲み物のラッシー



ナンがカレーを引き立たせるAランチ (760円)

場所 西宮市門前町7-26  
連絡先 0798-66-7226  
営業時間 11:30~15:00 / 17:00~22:00 (L.O 21:00)  
定休日 火曜日のディナー

踏み出せ、学生。まずは華麗なるカレーを食べ、「アカーシユ」へ行ってみてはいかがだろうか。



## うつくしい子ども 石田 衣良

### 弟の犯罪に向き合い、強く生きる兄の姿を描く

「最低の人間だつて、誰かがそばに寄り添ってあげてもいいはずだ。それがほくの弟ならなおさらじゃないか」。

物語の中には14歳の少年の苦悩が悲しいほどに溢れていた。石田衣良著『うつくしい子ども』は1997年に起きた神戸連続児童殺傷事件をもとに書かれたものだ。ニュータウで9歳の少女が行方不明になり、数日後、無残な姿で発見された。犯人は13歳の少年。

幹夫は決して調査を止めなかった。「あいつが僕の弟だ」という事実は変わらないから」と、目に見えぬ多くの暴力から何度も立ち上がる幹夫の姿を私はうつくしいと思った。

子どもたちは一生懸命生きていく。自分自身に悩み、家族に悩み、友人に悩む。誰も傷つけない道はないのかと必死に探りながら生きているのではないか。大人たちがそんなうつくしい子ども達と、どれほど真正面から向き合っているのか。家族の問題が溢れる現代、大人の姿勢が問われている。



### 『どんな人だつてその人の人生という舞台では主役である』

遠藤 周作

遠藤周作さんが『生きる』と題して語っている言葉だ。誰であれ自分の人生という舞台で自分が主役なのだ。つまらなさそうにしている主役の舞台はおもしろくない。私にとってこの言葉は自分にとっての人生という舞台で、自分が主役なのだ。周りの人たちが主役となる。周りの人たちが主役である。周りの人たちが主役である。周りの人たちが主役である。

## 関西周辺の表敵なお店 アカーシユ

Vol.23

### 季節のカレーが30種、香辛料にもひと工夫



店内はインドのインテリアが並ぶ

か、インド風の紅茶のチャイを選択できる。優雅なランチのひとときを満喫できる。カレーの辛さを調節できるのも魅力の一つだ。老若男女、それぞれが自分の好みの辛さで食べることができる。一番辛い50倍のスパイスまで調節できる。

以上無理なことだ。対人関係で辛い思いをしたり、また病気に苦しめられることと悪いことを比べると、自分の人生では主役の私も、他人の人生から見ると脇役になる。そう考えると、他人の邪魔をしたり、無神経な言動で人を傷つけたりすることで簡単に悪役にもなってしまうのだ。そんな人間が、自身の舞台を充実したものにできるだろうか。他人に思いやりを持って人間は悪役にならない。それが理想的な舞台である。しかし、しがらみや挫折なしの舞台は、人間である以上、自分が動かないと

何もしないのは当たり前なのだ。一回しかない人生。たかがお芝居にすぎないと思いき、肩の力を抜いて生きてみることも大切だ。楽しい人生になるかどうかはその人次第である。



# 学生・大阪維新の会代表に 法学部3回生 市橋 拓さん就任!

大阪維新の会を支持する学生の団体、学生・大阪維新の会の代表に市橋拓さん(法・3)が就いた。10月13日に開かれた学生・大阪維新の会の発足式には京都大学や大阪市立大学など関西の学生が集結。大阪維新の会の橋下代表をはじめとする約800人もの人々が発足式に参加した。

今回、関西の学生を先導する市橋さんとどのような人物なのか、取材した。

「政治に興味をもったきっかけは？」

1回生のとき、議員インターンシップの案内をもらったのがきっかけ。2回生から政治に関連する色んな啓発イベントに自主的に参加するようになった。当初は政治家に対する漠然としたイメージしか持っていなかった。でもイベントを通して関西で活躍する多くの政治家と出会い、語り合うことで政治への理解が深まった。2年間で築いた人間関係を基盤に、現在は講演をしたり、大学生向けに政治塾を開くなどの活動をしている。

「学生・大阪維新の会発足のきっかけは？」

橋下代表と出会ったのは2回生の時に参加した「投票向上キャンペーン」。このキャンペーンに橋下代表が参加し、(市橋さんは)スタッフとして参加していた。橋下代表との質疑応答で、ある女子学生が「若者の政治離れを解決するためには、もっと政治家が学生に対してアピールする必要がある」と発言。すると、橋下代表は「自分のところにボールがくるのを待っているのではなく、取りに来い。政治を学びに来い」と答えた。その答えに疑問をもち(市橋さんは)手を挙げた。「確かに政治に関心を持っていない若者が悪い。しかし、そんな若者しか作ることができない社会も悪い。学校は政治の仕組みを暗記させるだけで、実際に活かせる政治は教えない。僕が学生を集めて活かせる政治を教える」と話した。それをきっかけに学生の団体を作ることになった。

「学生・大阪維新の会のメンバーはどうやって集めたのですか？」

まずは知り合いからメンバーを集めていった。学生・大阪維新の会を結成するまでの間、色んな葛藤があった。仲間を巻き込んでいいのか。本当に悩んだ。

「橋下代表を支持する理由は？」

橋下代表は何かを変えてくれる人。今、大阪は本当に危ない。5年後には財政破綻する。現状維持ではいけない。現状を変えてくれるリーダーが必要だ。

「どうして『僕が大阪を立て直そう』と思ったのですか？」

とにかく当事者意識が強い。小学生の時、ホームレスを家に連れて帰ろうとしたことがあった。それは結局、母に止められたけど(笑)。昔から誰かが困っていると「なんとかならんのか」と悩んでしまう。だから、今の大阪を見てみると辛い。「なんとかせな」と思う。

「市橋さんは3回生ですが、就職活動はしないのですか？」

就活は今じゃなくても出来る。来年だつてある。就職活動と大阪の歴史を変えることを天秤にかけたら、迷うことなく後者だった。人生は1本の映画だと思ふ。どんな映画を見たいか。無難な映画よりも、僕は山あり谷ありの映画のほうがおもしろいと思う。

「夢がありますか?これから何をしたいですか?」

今からどうやって生きていくかということよりも、どうやって死ぬかを考えた。死ぬときにいったい何が欲しいか。僕は死ぬ時に、自分のマインドを引き継ぐ次の世代がいたら、幸せ。次の世代を育てていきたい。特に、先のことを考えて行動できる「リーダー」の育成が必要だ。

「政治以外に、なにか気になるニュースはありますか?」

日本の優秀な人材が海外に出ていく傾向があること。みんな勘違いしている。どうして日本人が海外に行つたときに受け入れられないのか。それは外国が日本という国の国力に対して信頼を寄せているから。その信頼は先人が築いたものだ。僕たちは先人の力を食いつぶして、次の世代には何も残さないのか? 次の世代に何か財産を残してあげないといけない。そのために日本を立て直さないといけない。



発足式で壇上に乗る市橋さん(中央公会堂にて)

か。それは外国が日本という国の国力に対して信頼を寄せているから。その信頼は先人が築いたものだ。僕たちは先人の力を食いつぶして、次の世代には何も残さないのか? 次の世代に何か財産を残してあげないといけない。そのために日本を立て直さないといけない。

「関西学生にメッセージを。」

タフでいてほしい。みんなが考えている以上に、日本はやばい。これから増税や医療費の値上げは必須。それに反し、年金は底をつき、退職金ももらえないのか分らない。僕らの老後は真つ暗だ。誰かが何とかしてくれと思うてはだめ。覚悟を決めない。自分の問題だと当事者意識を持ち、行動に起こさないといけない。

## 開学から大阪を変える!

大阪府構想とは?

大阪府庁と大阪市役所をひとつにし、大阪府を作るというもので、東京都の行政の体制をモデルにしています。東京都は23の特別区があり、それぞれに選挙で選ばれた区長がいて、区議会も開かれています。東京都の「区」は「市」とほぼ同じ役割を担っています。そして区の集まりである東京都を代表するのは、東京都知事ひとりです。

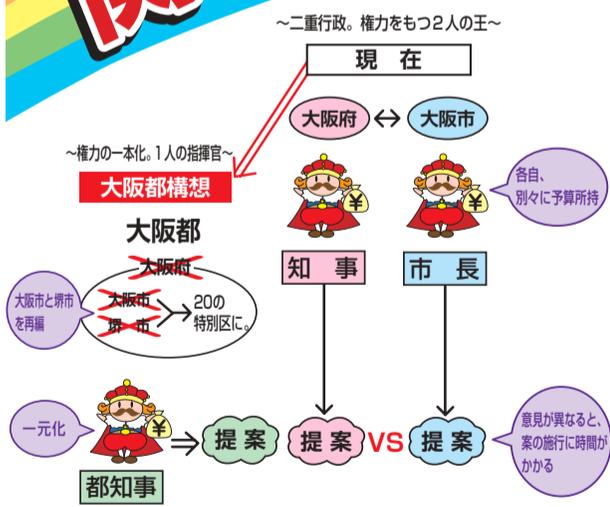
それに比べ、大阪府にある24の区の区長は、大阪市長により任命されます。区議会も開かれませんが、そして大阪には大阪府知事と大阪市長の2人のリーダーがいます。

「都市の指揮官は1人で十分」というのが橋下代表の主張です。たしかに決定権を持つリーダーが2人いると、重要な施策を決定するにも片方が反対すると施行できないなど、時間を有するケースがあります。また、大阪府と大阪市ではお金の出所が違つたため、府と市が似たような施設(会館、水道など)に各自で投資するという無駄も生じます。橋下代表はこれらのお金時間の無駄を削減するために、大阪市24区を中心とした特別区を設置し、府と市の一元化「大阪府構想」を目指しています。

「ぼくはまず大阪を立て直さないと」。この言葉の裏にどれだけの努力と苦悩と勇気があったのだろうか。市橋さんの第1印象は「何か変えてくれそうな人」。彼はそう期待させるだけのオーラを持ち合わせていた。「僕は次の世代に残せるものはマインド」。市橋さんの言葉はどこまでも強く、透き通っている。

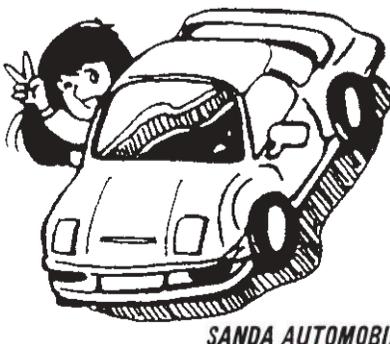
実は、当初の企画では大阪維新の会の橋下代表と市橋さんの対談を考えていた。しかし維新の会より、取材は受けられないとの回答があり、断念せざるを得なかった。「学生が大阪に関心を持つ最大のチャンスなのに」と嘆く私に、市橋さんは「僕も橋下代表に会うまで時間がかかったんだから」と笑った。諦めず少しずつ歩んできたからこそ、今の市橋さんの姿がある。私も少しずつ歩もう。そして、必ずや橋下代表と市橋さんの「大阪への熱き想い」を込めた対談を実現させた。

編集後記



開学・神戸三田キャンパスから  
一番近い AUTOMOBILE SCHOOL

授業のあいだに  
楽々教習!



SANDA AUTOMOBILE SCHOOL

SAS  
SINCE 1963

大学生協  
サービスカウンターにて受け付け

お問い合わせは  
お気軽にお電話で

TEL三田(0795)  
62-2995 (代)

大型科・普通科 (MT・AT)・大型二輪科  
普通二輪科 (小型限定)・審査科 (普通・自動二輪)

公安委員会指定技能試験免除  
三田自動車学院